

新見市国民健康保険 データヘルス計画

【概要版】

平成30年3月

データヘルス計画とは・・・

特定健康診査のデータや国保レセプトデータ等を分析し、健康寿命の延伸及び医療費の適正化を図ることを目的として計画を策定し、地域や関係団体と共に効果的かつ効率的な保健事業を実施し、評価を行うものです。

新見市の状況

国民健康保険被保険者の状況

新見市国保被保険者数は6,526人（平成29年9月末）で人口の21.5%を占めています。そのうち65歳以上の高齢者割合は、55.3%であり、国県に比べて高くなっています。

新見市国民健康保険の被保険者割合

	人口	国民健康保険 被保険者数	被保険者 割合
新見市	30,324	6,526	21.5%

出典：新見市住民基本台帳、世帯数・被保険者数及び異動変更等

事由別集計表（平成29年9月末）

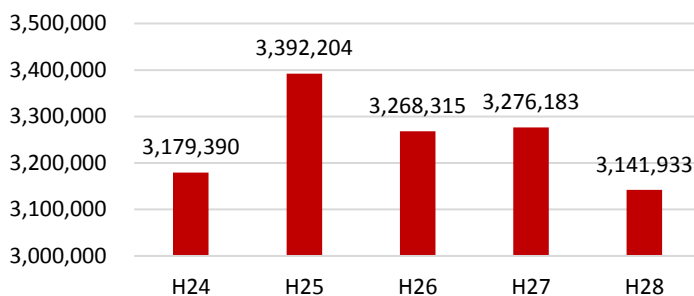
新見市国保医療費の状況

総医療費は、平成25年度に急激に増加し、平成28年度には31億円まで減少しています。

1人あたり月額医療費は国県平均より高い状況が続いています。

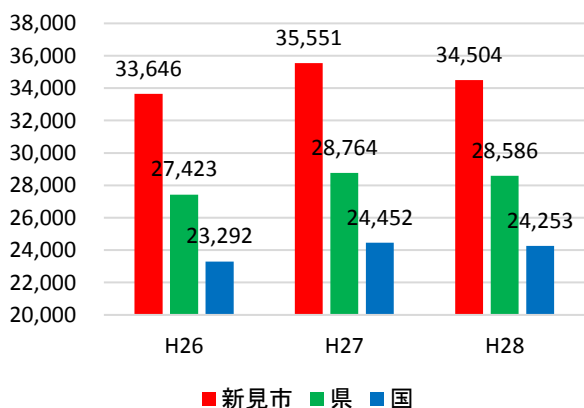
疾病別に1人あたり医療費をみると、平成28年度では高い順に「循環器系の疾患」、「新生物」、「精神及び行動の障害」となっています。

新見市国保医療費総額（単位：千円）



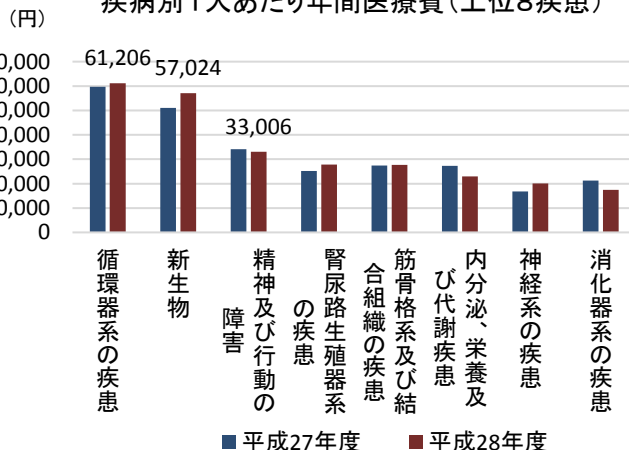
出典：国民健康保険事業状況（年報）

1人あたり月額医療費（単位：円）



出典：KDB 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題（平成26～28年度）

疾病別1人あたり年間医療費（上位8疾患）

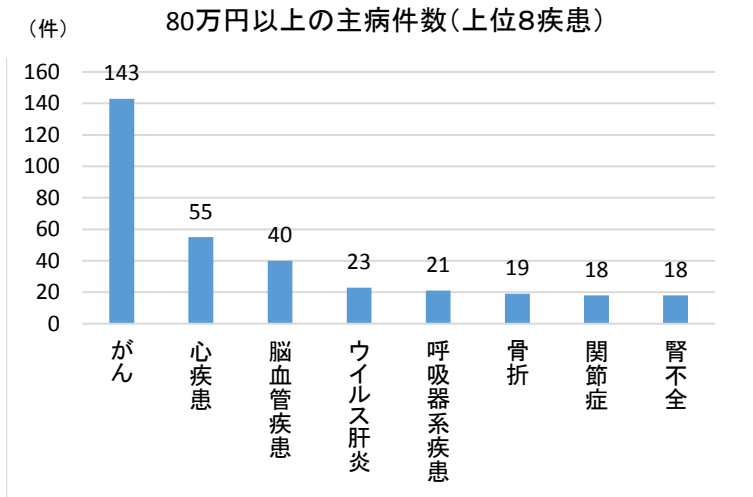


出典：医療費分析システム Focus（平成27～28年度）

高額な医療費の状況

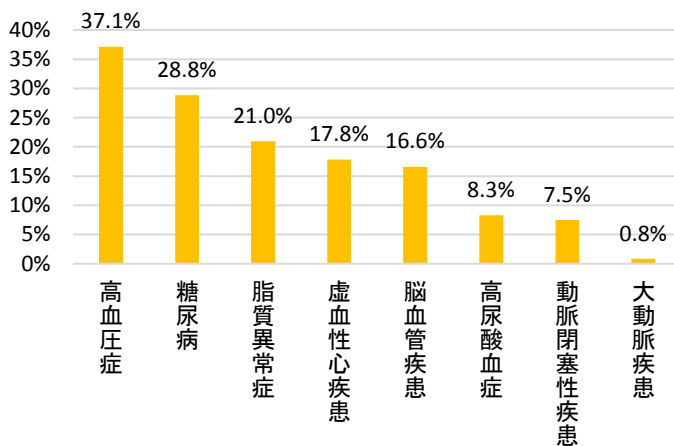
医科医療費で1か月80万円以上の高額になる疾病は、件数の多い順に「がん」、「心疾患」、「脳血管疾患」、「ウイルス肝炎」、「呼吸器系疾患」となっています。

また、1か月80万円以上の主病患者が合わせ持つ疾患の割合は「高血圧症」、「糖尿病」、「脂質異常症」、「虚血性心疾患」、「脳血管疾患」の順に多くなっています。



出典: KDB 厚生労働省様式 1-1 (平成 28 年度)

80万円以上の主病患者が合わせ持つ疾患の割合



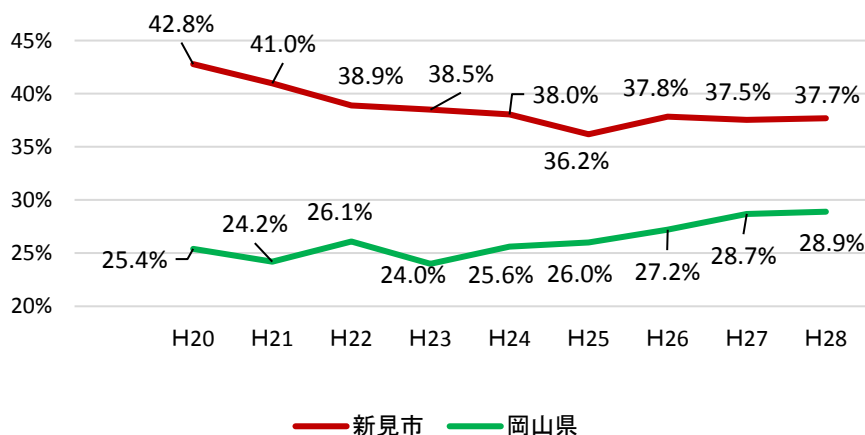
出典: KDB 厚生労働省様式 1-1 (平成 28 年度)

1か月80万円以上の主病患者が合わせ持つ疾患は、高血圧症、糖尿病、脂質異常症等生活習慣病が多く、生活習慣病を持ちながら重症化していることがわかります。

腎不全の多くを占める人工透析の医療費は、平成28年度には1億7567万円と高額になっており、人工透析に至らないように糖尿病をはじめとする生活習慣病を重症化させないことが大切です。

特定健康診査の状況

特定健診受診率の推移



出典: 特定健康診査法定報告 (平成 20～28 年度)

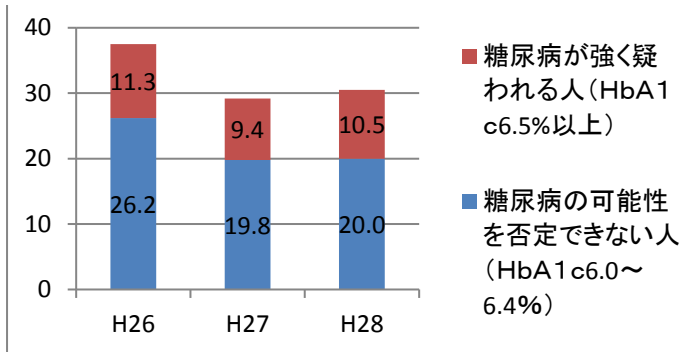
特定健診受診率は、平成20年度は42.8%でしたが、平成28年度には37.7%となっています。

生活習慣病を予防するために、健診受診率向上に向けての更なる取組が必要です。

新見市の健康課題

糖尿病

特定健康診査受診者の HbA1c 高値者の割合(単位: %)



出典: 特定健診等データ管理システム

糖尿病治療者は、被保険者の約 4 人に 1 人と多く、また特定健康診査の結果から、糖尿病が強く疑われる人、糖尿病の可能性を否定できない人の割合が、合わせて約 3 割と多い状況です。

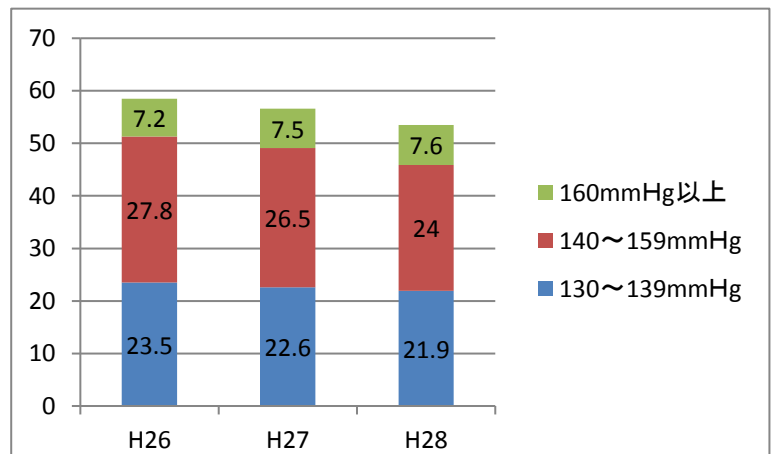
また、糖尿病合併症の治療者数は「糖尿病性網膜症」が一番多く、次いで「糖尿病性腎症」、「糖尿病性神経障害」の順となっています。

高血圧

高血圧治療者は被保険者の約 2 人に 1 人と多く、また特定健康診査の結果をみると、収縮期血圧が 140mmHg 以上の医療機関の受診が必要な者の割合は 3 割を超える状況です。

また、高血圧でありながら医療機関受診ができていない状況も見受けられるため、治療に繋げること、また全市民を対象とした高血圧予防の更なる取組が必要です。

特定健康診査受診者の収縮期血圧高値者の割合(単位: %)



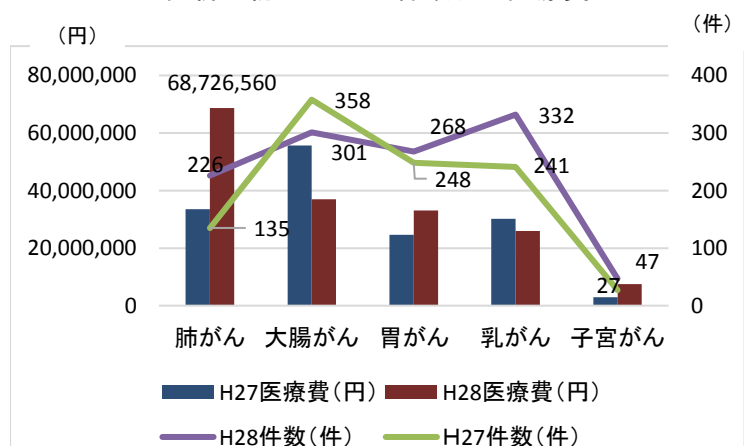
出典: 特定健診等データ管理システム

悪性新生物

平成 27 年度と平成 28 年度を比較すると、肺がんがレセプト件数・医療費ともに増加し、大腸がん以外のがんのレセプト件数が増加しています。

がん検診受診率は全体的に低く、特に胃がん検診が低い状況です。また、がん検診精密検査受診率は大腸がん検診が低く、引き続きがん検診受診率向上と精密検査の未受診者の解消を図る必要があります。

悪性新生物のレセプト件数及び医療費



出典: 医療費分析システム Focus 疾病分類 121 分類(平成 27～28 年度)

主な保健事業計画

事業名	目的及び内容	対象者
健康意識向上 プログラム	若い年代から健康意識を高め、健診を受診し、生活習慣病等疾病予防に取り組むことができることを目指します。 ケーブルテレビ等を活用して広く市民に専門家による健康情報を発信し、健康についての関心を高めます。	全市民 
糖尿病 予防事業	糖尿病の重症化を防ぎ、生活の質（QOL）の向上を図り、結果として医療費適正化につなげることを目指します。 糖尿病の知識及び血糖コントロールのための保健指導を実施します。	糖尿病患者、高血糖者 
高血圧 予防事業	高血圧症予防と高血圧症の重症化を防ぐため、「家庭血圧測定」及び「減塩、適塩」の推進を行います。 各地域における健康教室、愛育委員活動、栄養委員活動を通して普及啓発を行います。	全市民 
運動習慣 づくり	生活習慣病の予防及び重症化を防ぐため、運動習慣の定着を目指します。 日常生活に運動を取り入れるため、ラジオ体操、健康チャレンジポイント、クアオルト健康ウォーキング等の普及促進を図ります。	全市民 
禁煙・分煙 推進事業	タバコの害によるガン及び生活習慣病を予防するため、禁煙・分煙を推進します。 禁煙治療費助成事業を実施し、禁煙を支援します。	全市民 

新見市

福祉部 市民課 (TEL: 72-6123 FAX: 72-1407)

福祉部 健康づくり課 (TEL: 72-6129 FAX: 72-6613)